

【Jamboardを使って意見の可視化を行う】



実際のJamboardのキャプチャー画像

活用場面

個別学習

思考を深める学習

協働学習

協働での意見整理

活用した機器等

LAN教室端末

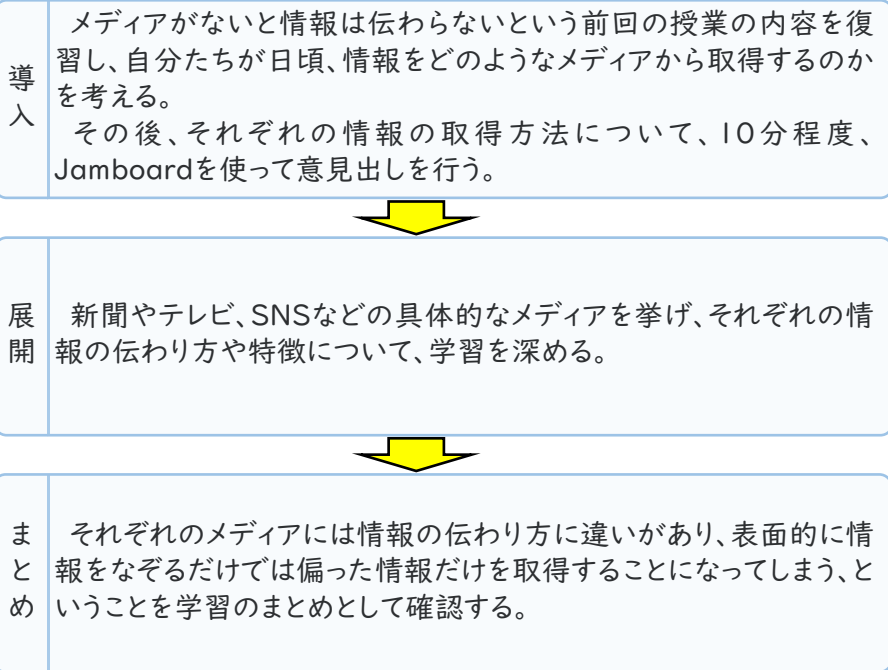
活用したアプリ等

Google Classroom  
Google Jamboard

学習のねらい

新聞やテレビ、SNSなど、様々なメディアごとの特徴を理解する前に、日頃、生徒がどういったメディアから情報を取得しているかをJamboardで情報共有し、メディアとの正しいつきあい方をクラスで考えるきっかけにする。

学習の流れ



ココでICTを活用！

学習の導入部分において、40人がGoogle Classroom からJamboardにアクセスできるようにし、Jamboardの同じシート(Jam)上にそれぞれの情報の取得の方法を記入した付箋をはらせた。付箋は色を有効に使い、視覚的に分類をしやすくするようにした。

今回はChromebookの忘れなどにも対応できるようにするために、LAN教室の端末を利用して活動を行った。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

リアルタイムでクラスメイトの情報取得の方法が視覚的にわかりやすく共有されていくので、生徒は普段の授業よりも興味を持って取り組む様子が見られた。そこから、「意外とテレビを見ているなあ」とか「新聞はだれも読んでいないな」等の自然な気づきがあったことがよかった。

40名が自由にJamboardを使いたすと收拾がつかなくなるので、人の書いたものは消さない、操作しない等、事前にルールを設定しておく必要がある。また、生徒が同時に意見出しをしていくので、時間設定をより具体的に示す方が良いと感じた。